

授業科目名	6. 在宅医療と地域の食生活支援システム・多職種連携
授業形態	講義 とSGD 発表 共有
単位数	1単位
時間数	11.25 時間(90分授業×8回)
担当教員名	宮原富士子(実務家教員)
担当形態	単独
【授業のテーマ及び到達目標】 ①地域医療、在宅医療の仕組み、多職種連携における他職との関わりについて理解する ②地域医療医療提供施設としての保険薬局の業務の仕組、医薬品の適正使用について理解する ③地域高齢者支援のひとつの柱である「ロコモ・サルコペニア・フレイル」「コンチネンスケア」について理解する ④地域医療における医療のひとつ疾病重症化防止をふまえた薬物治療等について理解する ⑤在宅医療の中で重要な柱となる終末期医療・緩和ケアについて理解する ⑥女性の生涯にわたる健康支援(ライフステージごとの関わりのあるあり方)・女性の健康寿命延長施策を理解する ⑦TPOに応じた栄養アセスメント、食事指導、食事アドバイス等のあり方の様々な方策を理解する 以上の学修により、地域において、様々な視点から新しい時代の管理栄養士のあり方、他職の連携チームで医療に介護にあたることの実践を理解する。	
【授業の概要】 授業はPPTを使って行う。(当日レジュメ資料を配布する) 主に70分講義を行い、15分討議もしくはワークを行い最後に5分でまとめと宿題を話し合う 次回の授業までにレポートをPPT形式で提出する ⑦の授業の時に様々な意見を交換する時間をもうけ、地域医療実習につなげる	
【授業計画】	
第1回	在宅医療における多職種連携(各種職種の業務とかかわり)
第2回	在宅医療における多職種連携(各種職種の業務とかかわり)
第3回	疾病重症化防止を念頭においた生活習慣病の治療とケア 終末期医療 緩和ケア がん患者との関わり
第4回	地域での管理栄養士の活動
第5回	地域での管理栄養士の活動 コンチネンスケア (排尿ケア)(排便ケア)
第6回	女性の生涯にわたる健康支援 ちいきでできること
第7回	近未来の地域食生活支援システム ビジョンの発表と討論
第8回	近未来の地域食生活支援システム ビジョンの発表と討論
【授業外学習】 事前:あらかじめ指定された「その日のキーワード」について自分なりに考えてくる 事後:PPT形式のレポート作成 提出	
【教科書】 随時プリントを配布する	
【参考書】 特になし	
【教材】 特になし	
【成績評価の方法・基準】 ①授業への参加態度 積極的かつ現実的な意見、 ②レポート提出(PPT) ③自分のテーマをもって 市民向け、他職専門職にむけての講座をできるようになる 授業の際に発表した内容、討論への参加、および提出レポートにより総合的に評価を行う。	
【備考】 特になし	